

(2) 今期の景況と来期の見通し

製 造 業

業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 5.6$ で前期比 3.2 ポイント増とやや改善した。売上額は $\Delta 3.9$ で 1.4 ポイント増と前期同様の減少が続き、受注残は 2.8 で 5.0 ポイント増と増加に転じ、収益は $\Delta 5.0$ で 2.7 ポイント減とやや減益が強まった。来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさが続き、売上額は今期同様の減少幅で推移し、受注残は増加から減少に転じ、収益は減少幅が多少縮小する見込み。

業種別でみると、業況は、「金属製品・建設用金属製品」はかなり改善し、「電気機械器具」は大きく好転し、「一般機械器具・金型」は幾分好調感が後退した。

売上額は、「一般機械器具・金型」はかなり増加幅が拡大し、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに大きく増加に転じた。受注残は、「一般機械器具・金型」はかなり増加幅が拡大し、「金属製品・建設用金属製品」は極端に増加に転じ、「電気機械器具」は増加から減少に転じた。収益は、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに大きく増加に転じ、「一般機械器具・金型」は前期同様の増益が続いた。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 0.0 で 5.4 ポイント増とやや下降傾向が弱まり、原材料価格は 14.9 で 8.9 ポイント増と大きく上昇が強まった。在庫は 2.6 で 5.0 ポイント増とやや過剰に転じた。来期の見通しについては、販売価格は下降がわずかに強まり、原材料価格は上昇傾向が幾分弱まる見込み。在庫は過剰から適正水準に転じる見通し。

業種別でみると、販売価格については、「一般機械器具・金型」は大きく上昇が強まり、「電気機械器具」はかなり下降が弱まり、「金属製品・建設用金属製品」はわずかに下降が強まった。原材料価格は、「金属製品・建設用金属製品」「一般機械器具・金型」はともに大きく上昇が強まり、「電気機械器具」は大きく下降幅が拡大した。在庫は、「一般機械器具・金型」はわずかに過剰感が強まり、「電気機械器具」は大きく過剰に転じ、「金属製品・建設用金属製品」は過剰からほぼ適正水準となった。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 2.3$ で 8.0 ポイント増と大きく窮屈感が緩和した。借入難易度は $\Delta 6.7$ で 0.8 ポイント減と前期同様の厳しさが続いた。借入をした企業は 18.6%で 5.3 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 11.6%で 2.9 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がわずかに強まり、借入をする企業は今期同様で推移する見込み。設備投資を実施する企業はやや減少する見通し。

業種別でみると、資金繰りは、「一般機械器具・金型」は極端に容易さが増し、「金属製品・建設用金属製品」は厳しさが大きく緩和して容易に転じ、「電気機械器具」は前期同様の窮屈感が続いた。借入難易度は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく容易さが増し、「電気機械器具」はわずかに容易さが縮小し、「一般機械器具・金型」はかなり厳しさが和らいだ。今期借入をした企業は、「電気機械器具」は前期同様で推移し、「金属製品・建設用金属製品」「一般機械器具・金型」はともに大きく減少した。設備投資を実施した企

業は、「電気機械器具」は前期同様で推移し、「金属製品・建設用金属製品」は若干減少し、「一般機械器具・金型」は大きく減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で33.7%となった。2位は「同業者間の競争の激化」で24.4%、3位は「利幅の縮小」で22.1%となった。以下、4位は「原材料高」が17.4%、5位は「人手不足」が14.0%となった。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で47.7%となった。2位は「経費を節減する」で39.5%、3位は「新製品・技術を開発する」で11.6%となった。以下、4位は「人材を確保する」が10.5%、5位は「情報力を強化する」が9.3%となった。

業種別動向

(1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△10.7で前期比13.0ポイント増とかなり改善した。売上額は5.8で8.3ポイント増、収益は9.0で9.4ポイント増とともに大きく増加に転じ、受注残は16.7で26.8ポイント増と極端に増加に転じた。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、業況、売上額、受注残、収益いずれも改善している。

価格動向については、販売価格は△7.8で2.1ポイント減とわずかに下降が強まり、原材料価格は38.9で14.3ポイント増と大きく上昇が強まった。在庫は△2.2で5.0ポイント減と過剰からほぼ適正水準となった。資金繰りは0.5で6.9ポイント増と厳しさが大きく緩和して容易に転じ、借入難易度は10.0で10.0ポイント増と大きく容易さが増した。借入をした企業は8.3%で13.1ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は25.0%で3.6ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は低調感が大きく強まる見込み。売上額は増加が多少強まる一方、受注残は増勢がやや一服し、収益は大きく伸び悩む見通し。販売価格は大きく上昇に転じ、原材料価格は上昇がかなり弱まると見込まれる。在庫は今年同様の適正水準に保たれ、資金繰りは容易さが大きく増す見通し。設備投資をする企業はかなり減少するとみられる。

経営上の問題点については、1位は「利幅の縮小」「工場・機械の狭小・老朽化」がともに同率の41.7%、2位は「売上の停滞・減少」「同業者間の競争の激化」がともに同率の33.3%、3位は「原材料高」で25.0%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で58.3%、2位は「販路を広げる」で41.7%、3位は「人材を確保する」で16.7%となった。

(2) 一般機械器具、金型

業況は10.3で前期比5.1ポイント減と幾分好調感が後退した。売上額は31.1で11.1ポイント増、受注残は25.4で10.7ポイント増とともにかなり増加幅が拡大し、収益は15.5で0.9ポイント減と前期同様の増益が続いた。今期の「一般機械器具、金型」は、売上額、受注残は改善したが、収益は前期並、業況は悪化している。

価格動向については、販売価格は11.4で11.3ポイント増、原材料価格は9.8で6.7ポイント増とともに大きく上昇が強まった。在庫は8.0で1.7ポイント増とわずかに過剰感が強まった。資金繰りは21.6で21.0ポイント増と極端に容易さが増し、借入難易度は0.0で9.1ポイント増とかなり厳しさが和らいだ。借入をした企業は25.0%で10.7ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は8.3%で6.0ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は好調感が若干強まり、売上額、受注残はともに増加幅が大きく縮小し、収益は今年同様の増益で推移する見通し。販売価格は今年同様の上昇幅で推移し、原材料価格は上昇がやや強まるとみられる。在庫は過剰感が大きく改善して適正水準となり、資金繰りは容易さが大きく縮小し、設

備投資をする企業は今期同様の水準で推移すると予想されている。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」が33.3%、2位は「人手不足」「同業者間の競争の激化」がともに同率の25.0%、3位は「大手企業との競争の激化」「利幅の縮小」「原材料高」がいずれも16.7%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」が58.3%、2位は「経費を節減する」が50.0%、3位は「新製品・技術を開発する」が25.0%となった。

(3) 電気機械器具

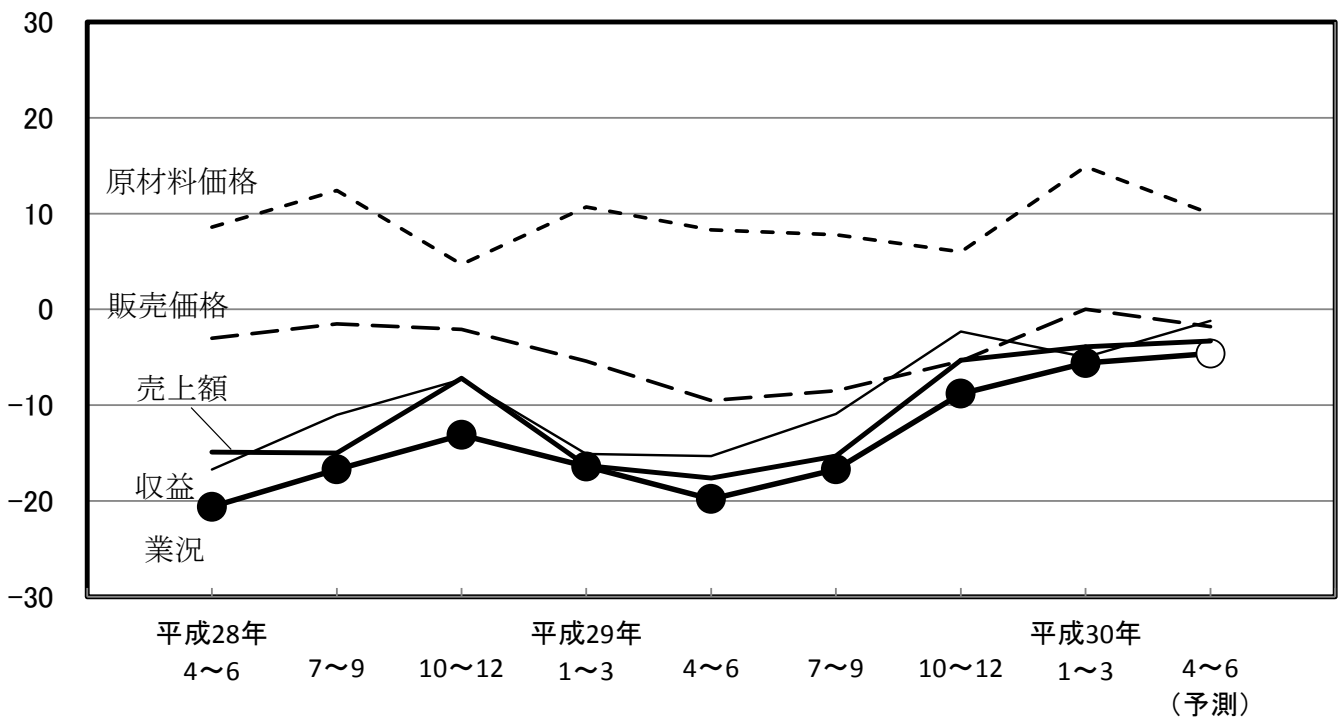
業況は6.3で前期比13.3ポイント増と大きく好転した。売上額は4.2で9.3ポイント増、収益は5.8で7.0ポイント増とともに大きく増加に転じ、受注残は△6.0で6.2ポイント減と増加から減少に転じた。今期の「電気機械器具」は、業況、売上額、収益はいずれも改善したが、受注残は悪化している。

価格動向については、販売価格は△3.6で9.3ポイント増とかなり下降が弱まり、原材料価格は△6.6で6.1ポイント減と大きく下降幅が拡大した。在庫は5.4で13.6ポイント増と大きく過剰に転じた。資金繰りは△7.2で0.9ポイント増と前期同様の窮屈感が続き、借入難易度は7.1で2.0ポイント減とわずかに容易さが縮小した。借入をした企業は6.3%、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は18.8%と、ともに前期同様で推移した。

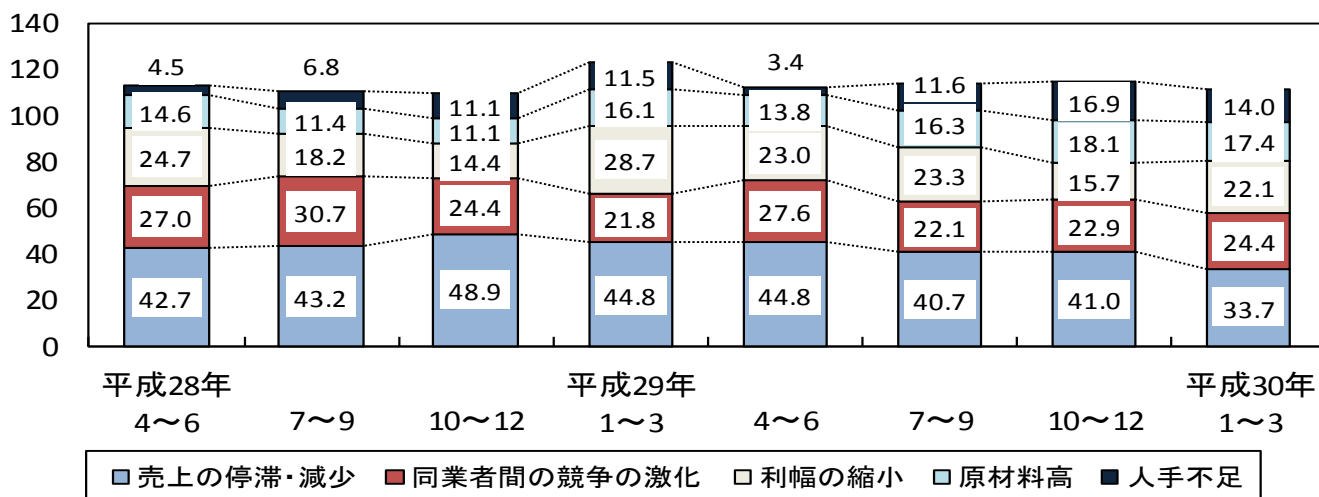
来期の見通しについては、業況は好調感が大きく強まる見込み。売上額、収益はともに増加幅が大きく拡大し、受注残は増加に転じる見通し。販売価格は今期同様の下降幅で推移し、原材料価格は下降がやや強まるとみられる。在庫は過剰感が大きく改善して適正水準となり、資金繰りは窮屈感がわずかに強まり、設備投資を実施する企業はかなり減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」「利幅の縮小」がともに同率の31.3%、2位は「同業者間の競争の激化」で18.8%、3位は「工場・機械の狭小・老朽化」で12.5%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で31.3%、2位は「経費を節減する」で25.0%、3位は「機械化を推進する」で18.8%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

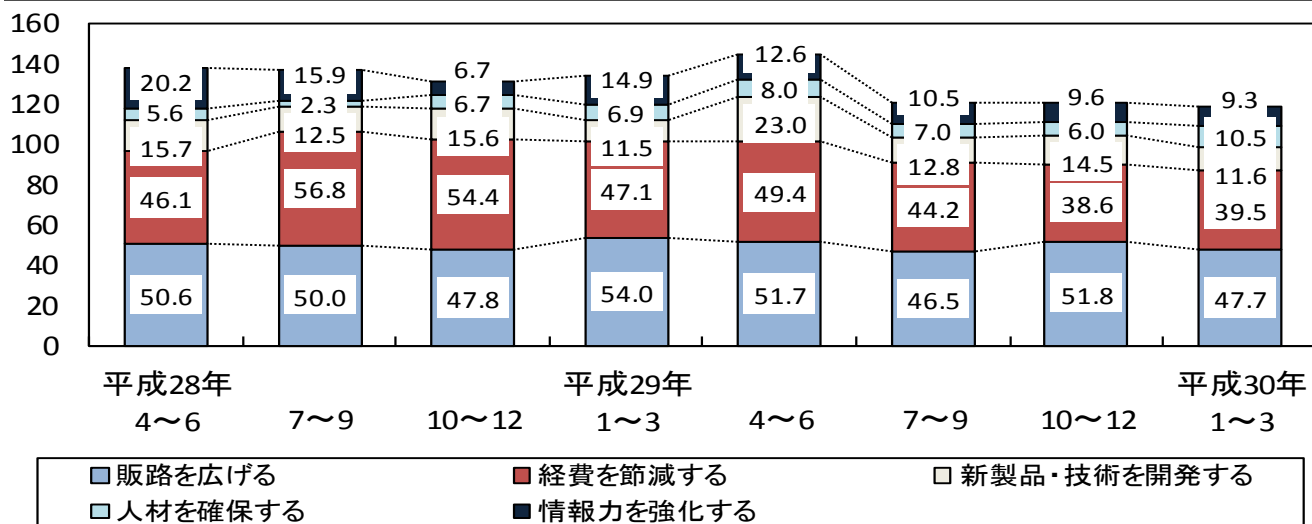


製造業 経営上の問題点（％）



	29年4～6月期	29年7～9月期	29年10～12月期	30年1～3月期
第1位	売上の停滞・減少 44.8 %	売上の停滞・減少 40.7 %	売上の停滞・減少 41.0 %	売上の停滞・減少 33.7 %
第2位	同業者間の競争の激化 27.6 %	利幅の縮小 23.3 %	同業者間の競争の激化 22.9 %	同業者間の競争の激化 24.4 %
第3位	利幅の縮小 23.0 %	同業者間の競争の激化 22.1 %	原材料高 18.1 %	利幅の縮小 22.1 %
第4位	販売納入先からの値下げ要請 13.8 % 原材料高 13.8 %	原材料高 16.3 %	人手不足 16.9 %	原材料高 17.4 %
第5位	大手企業との競争の激化 11.5 %	販売納入先からの値下げ要請 14.0 %	利幅の縮小 15.7 %	人手不足 14.0 %

製造業 重点経営施策（％）



	29年4～6月期	29年7～9月期	29年10～12月期	30年1～3月期
第1位	販路を広げる 51.7 %	販路を広げる 46.5 %	販路を広げる 51.8 %	販路を広げる 47.7 %
第2位	経費を節減する 49.4 %	経費を節減する 44.2 %	経費を節減する 38.6 %	経費を節減する 39.5 %
第3位	新製品・技術を開発する 23.0 %	新製品・技術を開発する 12.8 %	新製品・技術を開発する 14.5 %	新製品・技術を開発する 11.6 %
第4位	情報力を強化する 12.6 %	提携先を見つける 10.5 % 情報力を強化する 10.5 %	提携先を見つける 9.6 % 情報力を強化する 9.6 %	人材を確保する 10.5 %
第5位	人材を確保する 8.0 % 提携先を見つける 8.0 %	人材を確保する 7.0 %	人材を確保する 6.0 %	情報力を強化する 9.3 %

卸 売 業

業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 9.0$ で前期比 1.3 ポイント減と前期同様の厳しさが続いた。売上額は $\Delta 2.0$ で 2.0 ポイント増とやや減少を弱め、収益は $\Delta 14.7$ で 11.1 ポイント減と大きく減益を強めた。来期の見通しについては、業況はやや持ち直し、売上額は減少が大きく強まり、収益は今期同様の減益幅で推移する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は $\Delta 2.6$ で 8.9 ポイント増とかなり下降が弱まり、仕入価格は 11.5 で 13.8 ポイント増と大きく上昇に転じた。在庫は 4.3 で 0.1 ポイント減と前期同様の過剰感が続いた。来期の見通しについては、販売価格は下降が多少強まり、仕入価格は上昇が大きく強まる見通し。在庫は今期同様の過剰感が続く見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

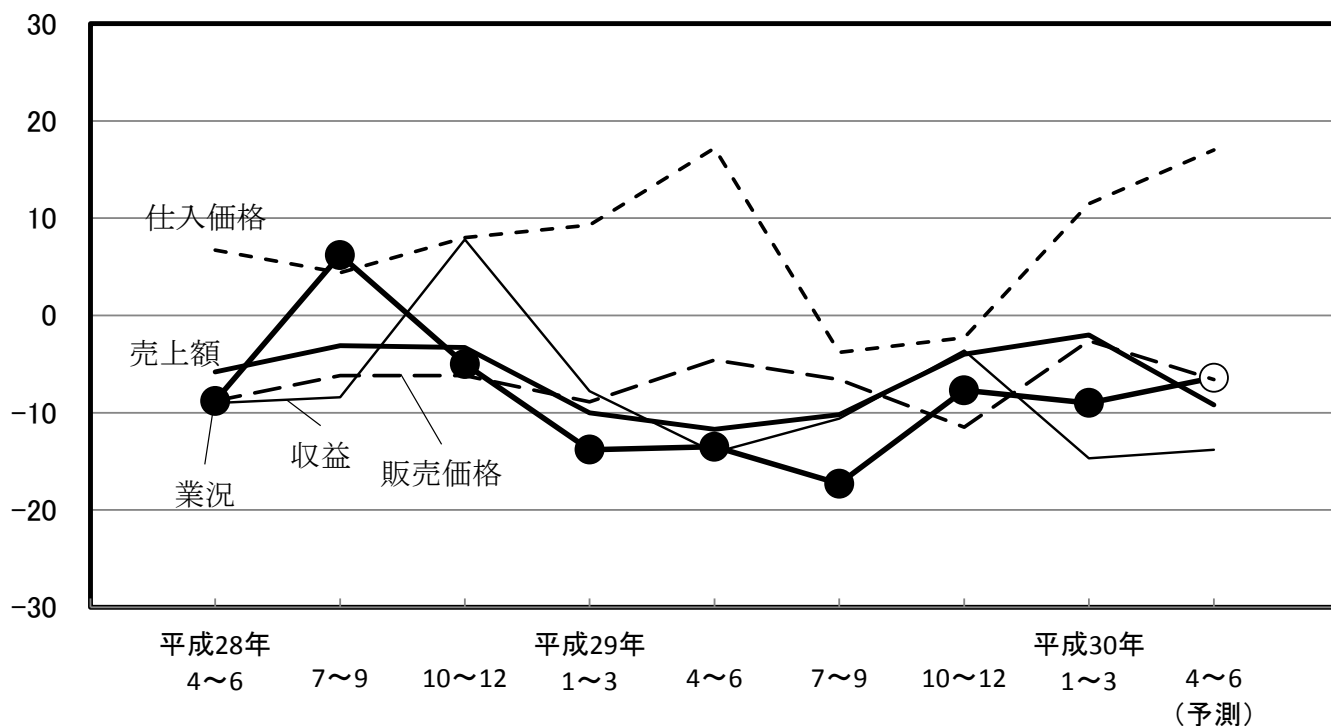
資金繰りは $\Delta 2.7$ で 4.2 ポイント増と若干窮屈感が緩和し、借入難易度は 4.2 で 3.8 ポイント減とやや容易さが縮小した。借入をした企業は 32.0%で 6.1 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 15.4%と 4.3 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がわずかに強まり、借入をする企業はやや減少して、設備投資をする企業は今期同様の見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

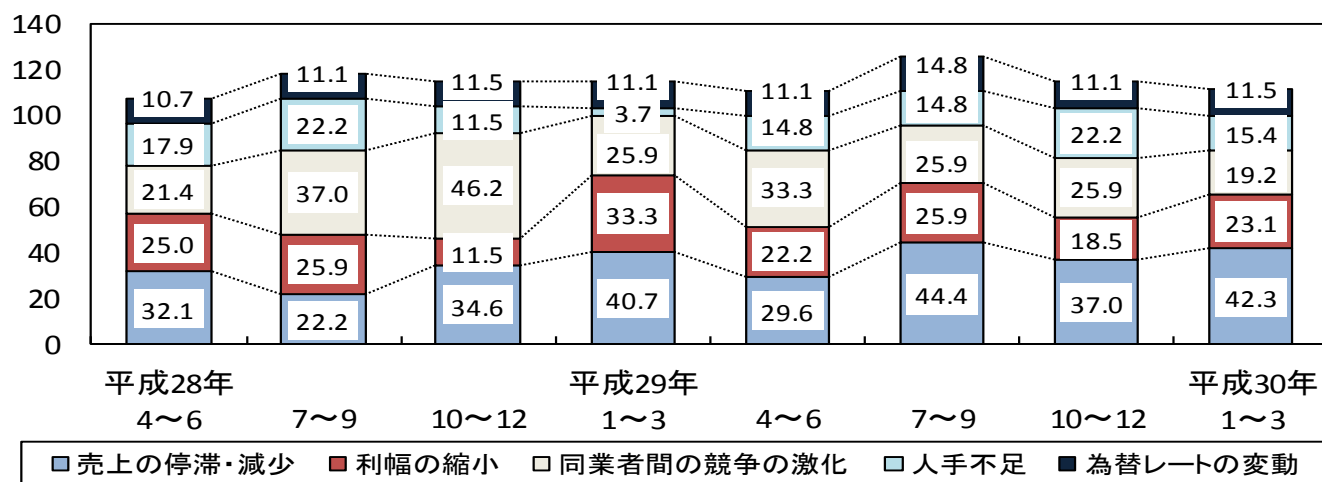
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で 42.3%となった。次いで2位は「利幅の縮小」で 23.1%、3位は「同業者間の競争の激化」で 19.2%となった。以下、4位は「人手不足」で 15.4%、5位は「為替レートの変動」で 11.5%と続いた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で 65.4%となった。次いで2位は「経費を節減する」で 50.0%、3位は「品揃えを充実する」で 19.2%となった。以下、4位は「人材を確保する」「提携先を見つける」がともに同率の 15.4%、5位は「情報力を強化する」が 11.5%で続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

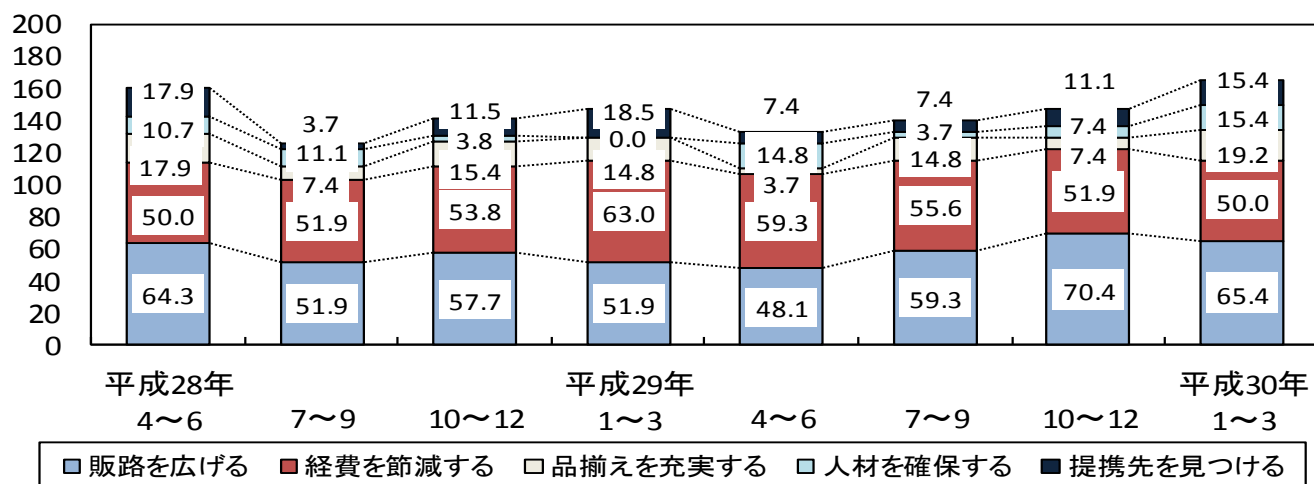


卸売業 経営上の問題点（％）



	29年4~6月期	29年7~9月期	29年10~12月期	30年1~3月期
第1位	同業者間の競争の激化 33.3 %	売上の停滞・減少 44.4 %	売上の停滞・減少 37.0 %	売上の停滞・減少 42.3 %
第2位	売上の停滞・減少 29.6 %	利幅の縮小 25.9 %	同業者間の競争の激化 25.9 %	利幅の縮小 23.1 %
第3位	利幅の縮小 22.2 %	同業者間の競争の激化 25.9 %	人手不足 22.2 %	同業者間の競争の激化 19.2 %
第4位	取引先の減少 18.5 %	為替レートの変動 14.8 %	人手不足 22.2 %	同業者間の競争の激化 19.2 %
第5位	人手不足 14.8 %	人手不足 14.8 %	利幅の縮小 18.5 %	人手不足 15.4 %
		合理化の不足 11.1 %	利幅の縮小 18.5 %	為替レートの変動 11.5 %
		輸入品との競争の激化 7.4 %	為替レートの変動 11.1 %	為替レートの変動 11.5 %
		販売商品の不足 7.4 %	販売商品の不足 11.1 %	
		取引先の減少 7.4 %		
		店舗の狭小・老朽化 7.4 %		

卸売業 重点経営施策（％）



	29年4～6月期		29年7～9月期		29年10～12月期		30年1～3月期	
第1位	経費を節減する	59.3 %	販路を広げる	59.3 %	販路を広げる	70.4 %	販路を広げる	65.4 %
第2位	販路を広げる	48.1 %	経費を節減する	55.6 %	経費を節減する	51.9 %	経費を節減する	50.0 %
第3位	情報力を強化する	25.9 %	情報力を強化する	14.8 %	情報力を強化する	25.9 %	品揃えを充実する	19.2 %
			品揃えを充実する	14.8 %				
第4位	人材を確保する	14.8 %	機械化を推進する	11.1 %	提携先を見つける	11.1 %	人材を確保する	15.4 %
							提携先を見つける	15.4 %
第5位	流通経路の見直しをする	7.4 %	新しい事業を始める	7.4 %	人材を確保する	7.4 %	情報力を強化する	11.5 %
	教育訓練を強化する	7.4 %	提携先を見つける	7.4 %	品揃えを充実する	7.4 %		
	提携先を見つける	7.4 %	輸入品の取扱いを増やす	7.4 %				

小 売 業

業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 5.6$ で前期比1.4ポイント減と前期同様の低調感が続いた。売上額は4.2で1.8ポイント増と若干増加幅が拡大し、収益は0.9で3.1ポイント増と増加に転じた。来期の見通しについては、業況は厳しさがわずかに和らぎ、売上額は増加幅がやや縮小し、収益は増加から減少に転じる見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は2.5で1.4ポイント増と前期同様の上昇が続き、仕入価格は10.9で3.6ポイント減と多少上昇が弱まった。在庫は $\Delta 0.5$ で2.3ポイント減と適正水準で推移した。来期の見通しについては、販売価格は上昇から下降に転じ、仕入価格は今期同様の上昇が続き、在庫は今期同様の適正水準で推移する見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

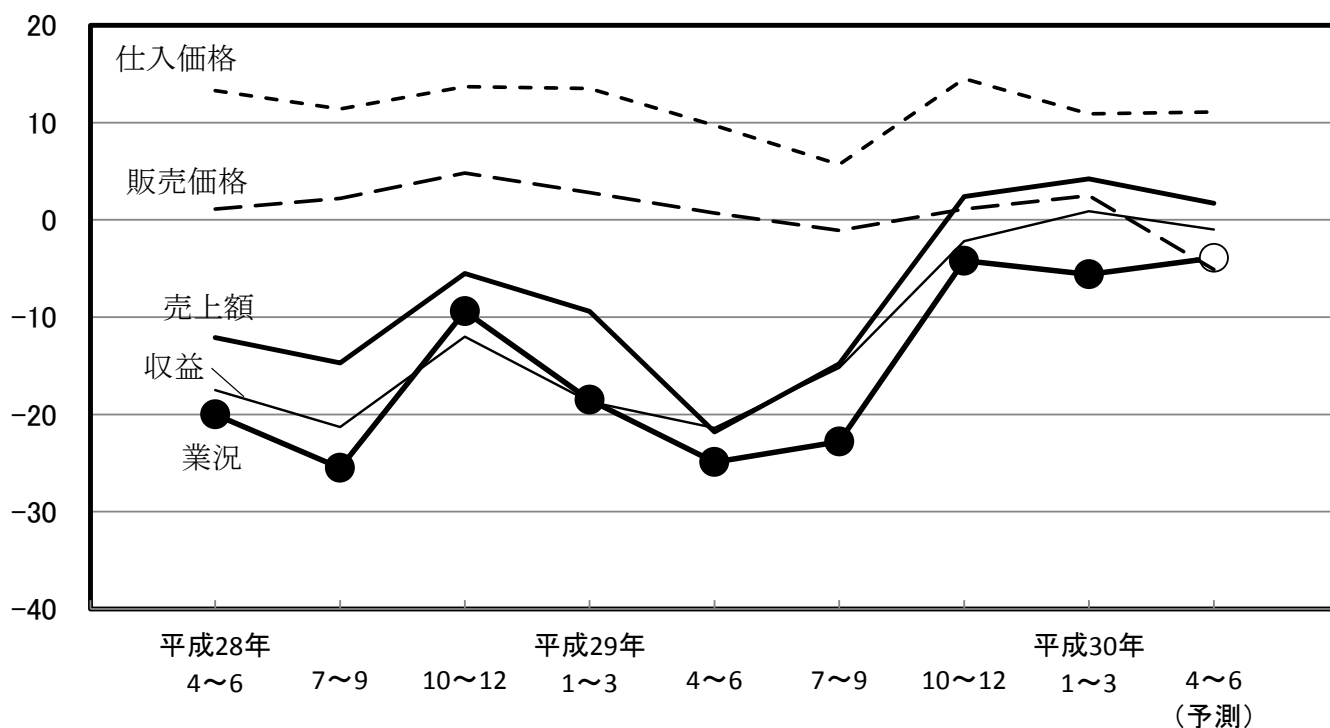
資金繰りは $\Delta 8.9$ で4.5ポイント増と幾分窮屈感が緩和し、借入難易度は $\Delta 2.9$ で0.1ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。借入をした企業は10.0%で8.6ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資をした企業は2.5%で0.2ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がわずかに緩和し、借入をする企業、設備投資をする企業はともにやや増加する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

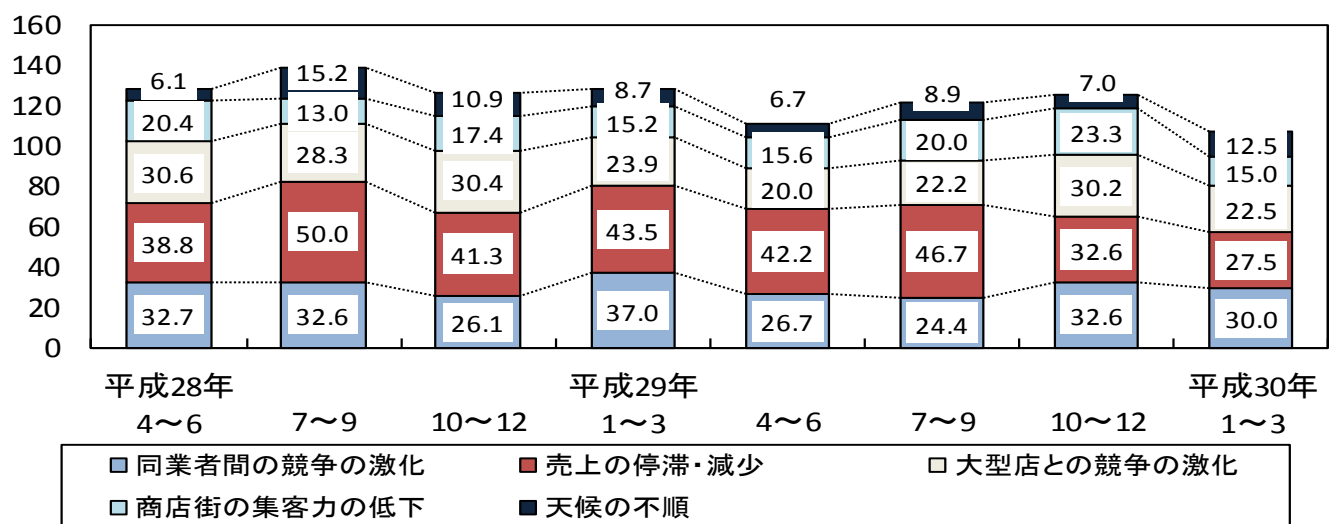
経営上の問題点については、1位は「同業者間の競争の激化」で30.0%、2位は「売上の停滞・減少」で27.5%、3位は「大型店との競争の激化」で22.5%となった。以下、4位は「商店街の集客力の低下」で15.0%、5位は「天候の不順」「利幅の縮小」でともに同率の12.5%と続いた。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で40.0%、2位は「宣伝・広告を強化する」で27.5%、3位は「品揃えを改善する」で22.5%となった。以下、4位は「商店街事業を活性化させる」「売れ筋商品を取り扱う」「仕入先を開拓・選別する」がいずれも同率の15.0%、5位は「人材を確保する」で7.5%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

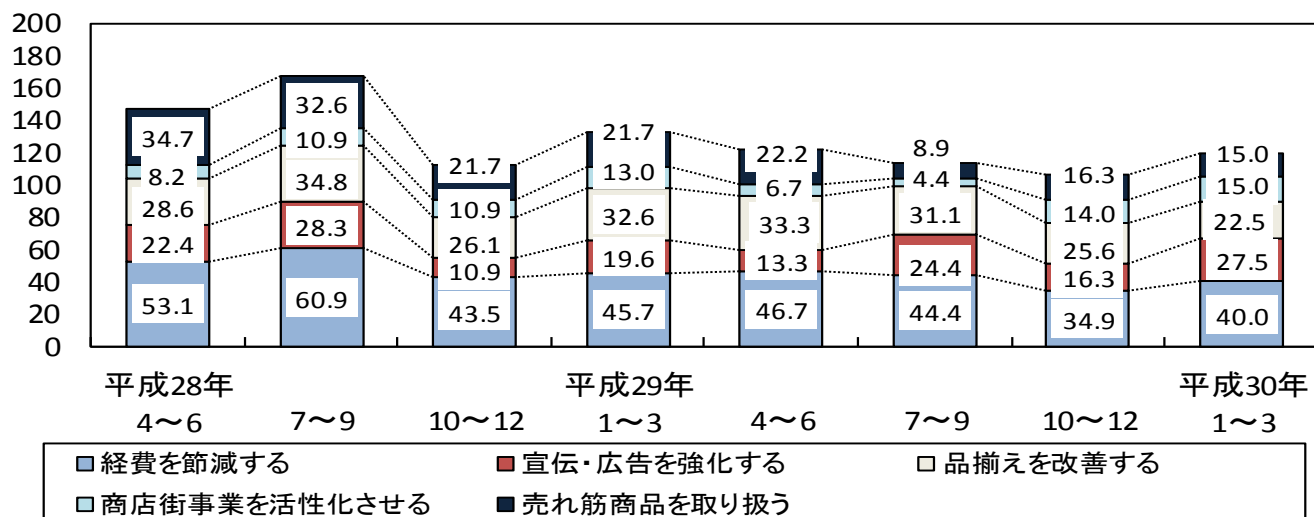


小売業 経営上の問題点（％）



	29年4~6月期		29年7~9月期		29年10~12月期		30年1~3月期	
第1位	売上の停滞・減少	42.2 %	売上の停滞・減少	46.7 %	同業者間の競争の激化	32.6 %	同業者間の競争の激化	30.0 %
第2位	同業者間の競争の激化	26.7 %	同業者間の競争の激化	24.4 %	大型店との競争の激化	30.2 %	売上の停滞・減少	27.5 %
第3位	大型店との競争の激化	20.0 %	大型店との競争の激化	22.2 %	商店街の集客力の低下	23.3 %	大型店との競争の激化	22.5 %
第4位	利幅の縮小	17.8 %	商店街の集客力の低下	20.0 %	人手不足	9.3 %	商店街の集客力の低下	15.0 %
第5位	商店街の集客力の低下	15.6 %	取扱商品の陳腐化	13.3 %	利幅の縮小	7.0 %	天候の不順	12.5 %
					仕入先からの値上げ要請	7.0 %	利幅の縮小	12.5 %
					天候の不順	7.0 %		

小 売 業 重 点 経 営 施 策 (%)



	29年4～6月期		29年7～9月期		29年10～12月期		30年1～3月期	
第1位	経費を節減する	46.7 %	経費を節減する	44.4 %	経費を節減する	34.9 %	経費を節減する	40.0 %
第2位	品揃えを改善する	33.3 %	品揃えを改善する	31.1 %	品揃えを改善する	25.6 %	宣伝・広告を強化する	27.5 %
第3位	売れ筋商品を取り扱う	22.2 %	宣伝・広告を強化する	24.4 %	売れ筋商品を取り扱う	16.3 %	品揃えを改善する	22.5 %
第4位	仕入先を開拓・選別する	17.8 %	仕入先を開拓・選別する	11.1 %	宣伝・広告を強化する	16.3 %	商店街事業を活性化させる	15.0 %
					商店街事業を活性化させる	14.0 %	売れ筋商品を取り扱う	15.0 %
					仕入先を開拓・選別する	11.6 %	仕入先を開拓・選別する	15.0 %
第5位	宣伝・広告を強化する	13.3 %	人材を確保する	8.9 %	人材を確保する	8.9 %	人材を確保する	7.5 %
			売れ筋商品を取り扱う	8.9 %	人材を確保する	11.6 %		

サービス業

業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 11.2$ で前期比6.2ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は $\Delta 12.5$ で2.9ポイント増とやや減少を弱め、収益は $\Delta 13.5$ で0.6ポイント減と前期同様の減益が続いた。来期の見通しについては、業況はかなり改善し、売上額は減少幅が大きく縮小し、収益は増加に転じる見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は $\Delta 6.2$ で0.3ポイント増と前期同様の下降幅で推移し、材料価格は22.2で9.6ポイント増と大きく上昇が強まった。来期の見通しについては、料金価格は下降がわずかに弱まり、材料価格は上昇幅が大きく縮小する見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

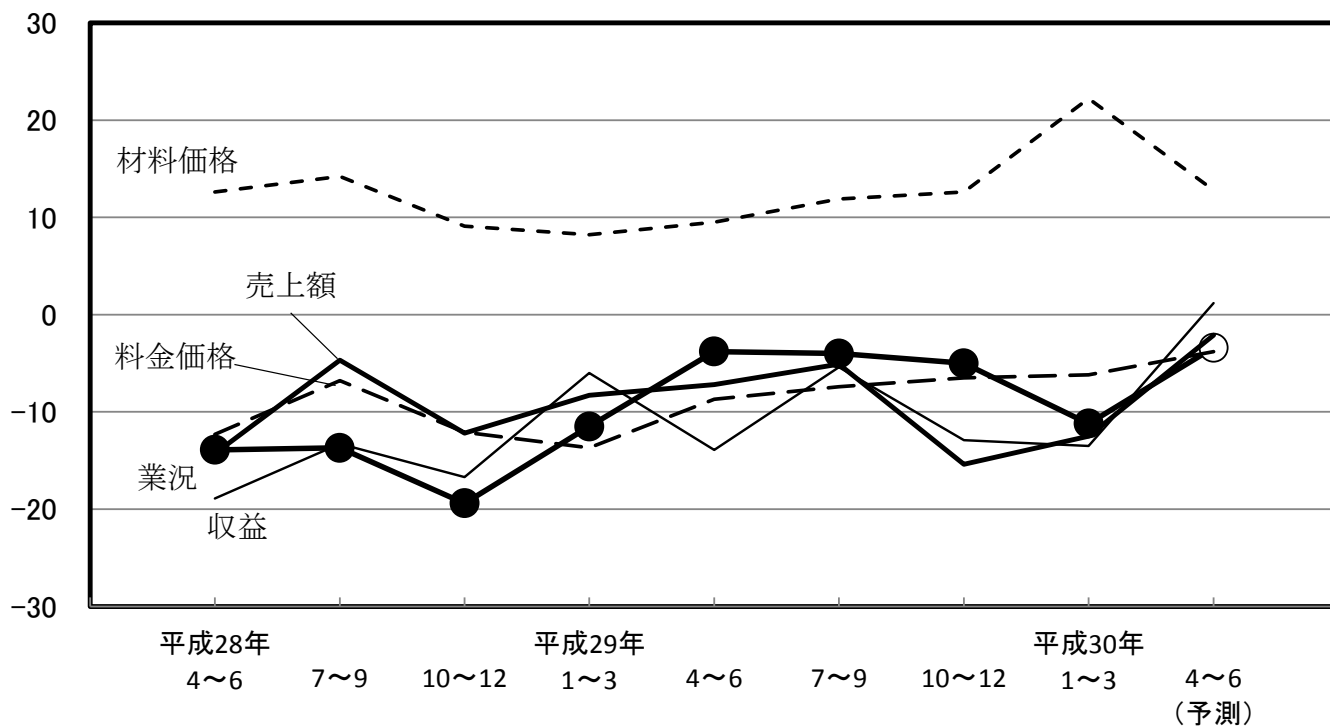
資金繰りは $\Delta 1.4$ で4.2ポイント増と多少窮屈感が緩和し、借入難易度は9.8で9.8ポイント増と大きく容易さが増した。借入をした企業は5.7%と13.2ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は13.7%と3.9ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の窮屈感で推移し、借入をする企業はやや増加して、設備投資を実施する企業は今期同様の見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

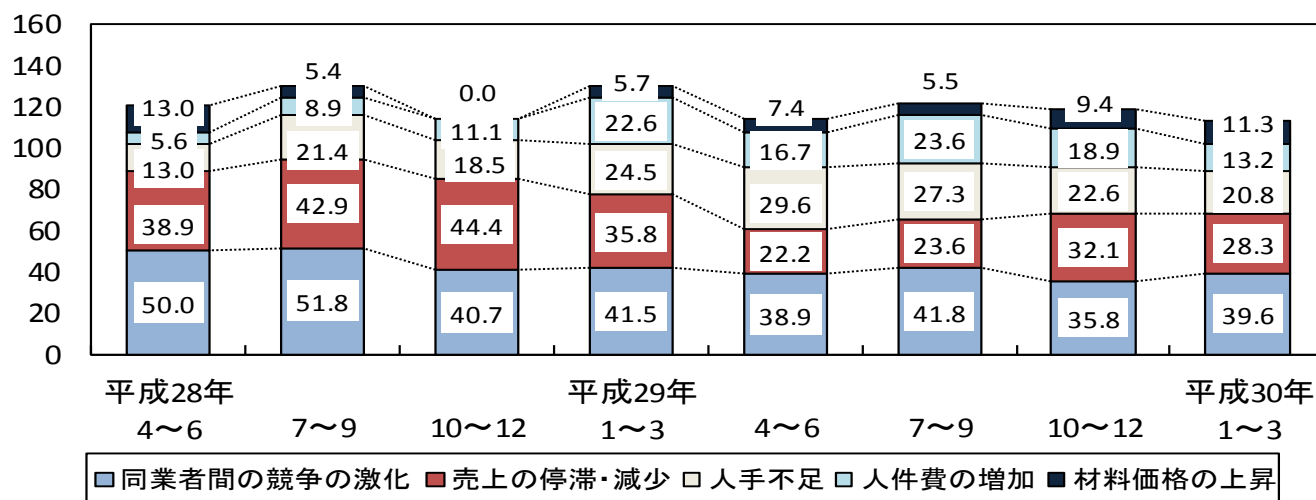
経営上の問題点は、1位は「同業者間の競争の激化」で39.6%、2位は「売上の停滞・減少」で28.3%、3位は「人手不足」で20.8%となった。以下、4位は「人件費の増加」で13.2%、5位は「材料価格の上昇」で11.3%と続いた。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で39.6%、2位は「販路を広げる」で37.7%、3位は「人材を確保する」で17.0%となった。以下、4位は「宣伝・広告を強化する」で13.2%、5位は「技術力を強化する」「新しい事業を始める」がともに同率の11.3%と続いた。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

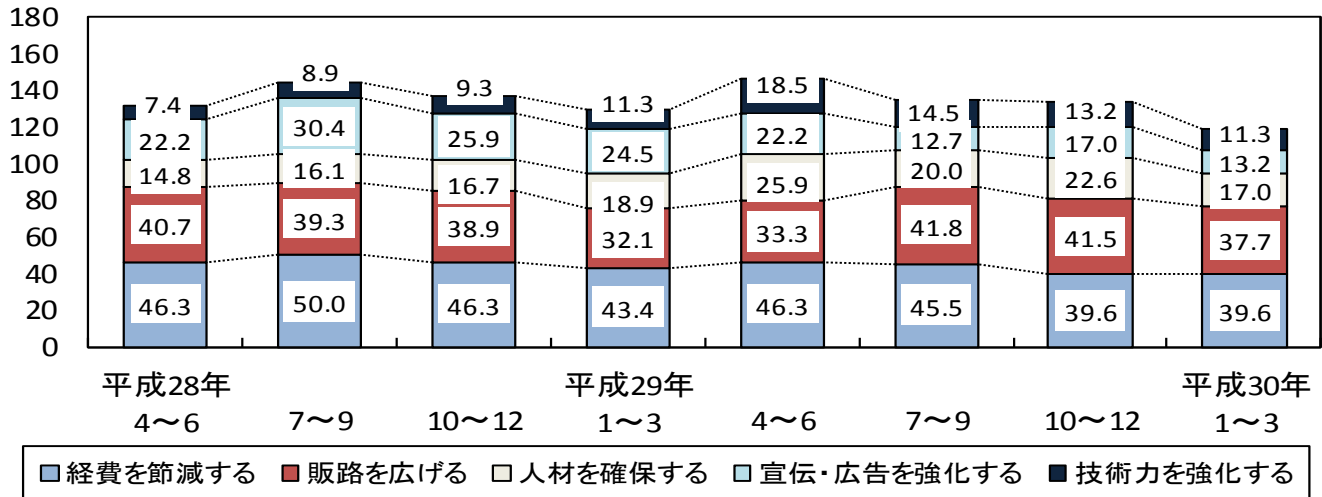


サービス業 経営上の問題点（％）



	29年4~6月期		29年7~9月期		29年10~12月期		30年1~3月期	
第1位	同業者間の競争の激化	38.9 %	同業者間の競争の激化	41.8 %	同業者間の競争の激化	35.8 %	同業者間の競争の激化	39.6 %
第2位	人手不足	29.6 %	人手不足	27.3 %	売上の停滞・減少	32.1 %	売上の停滞・減少	28.3 %
第3位	売上の停滞・減少	22.2 %	人件費の増加	23.6 %	人手不足	22.6 %	人手不足	20.8 %
第4位	人件費の増加	16.7 %	売上の停滞・減少	23.6 %	人件費の増加	18.9 %	人件費の増加	13.2 %
第5位	取引先の減少	9.3 %	利幅の縮小	9.1 %	利幅の縮小	11.3 %	材料価格の上昇	11.3 %
			大企業との競争の激化	9.1 %				
			取引先の減少	7.3 %				

サービス業 重点経営施策（％）



	29年4～6月期		29年7～9月期		29年10～12月期		30年1～3月期	
第1位	経費を節減する	46.3 %	経費を節減する	45.5 %	販路を広げる	41.5 %	経費を節減する	39.6 %
第2位	販路を広げる	33.3 %	販路を広げる	41.8 %	経費を節減する	39.6 %	販路を広げる	37.7 %
第3位	人材を確保する	25.9 %	人材を確保する	20.0 %	人材を確保する	22.6 %	人材を確保する	17.0 %
第4位	宣伝・広告を強化する	22.2 %	技術力を強化する	14.5 %	宣伝・広告を強化する	17.0 %	宣伝・広告を強化する	13.2 %
第5位	技術力を強化する	18.5 %	宣伝・広告を強化する	12.7 %	技術力を強化する	13.2 %	技術力を強化する	11.3 %
							新しい事業を始める	11.3 %

建設業

業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は 18.0 で前期比 0.8 ポイント減と前期同様の好調感が続いた。売上額は 12.0 で 3.2 ポイント増、収益は 18.7 で 2.9 ポイント増とともにやや増加幅が拡大し、受注残は 14.0 で 8.0 ポイント増、施工高は 21.2 で 7.8 ポイント増とともに大きく増加が強まった。来期の見通しについては、業況は今期同様の好調感で推移する見込み。売上額は増加がわずかに強まるが、受注残、施工高はともにやや伸び悩み、収益は増加幅が大きく縮小する見通し。

価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は 18.2 で 1.8 ポイント減とわずかに上昇が弱まり、材料価格は 47.2 で 19.4 ポイント増と大きく上昇幅が拡大した。在庫は 2.0 で 0.4 ポイント増と前期同様の適正水準で推移した。来期の見通しについては、請負価格は上昇が若干弱まり、材料価格は上昇が大きく弱まる見込み。在庫は今期同様の適正水準で推移する見通し。

資金繰り・借入金・設備投資動向

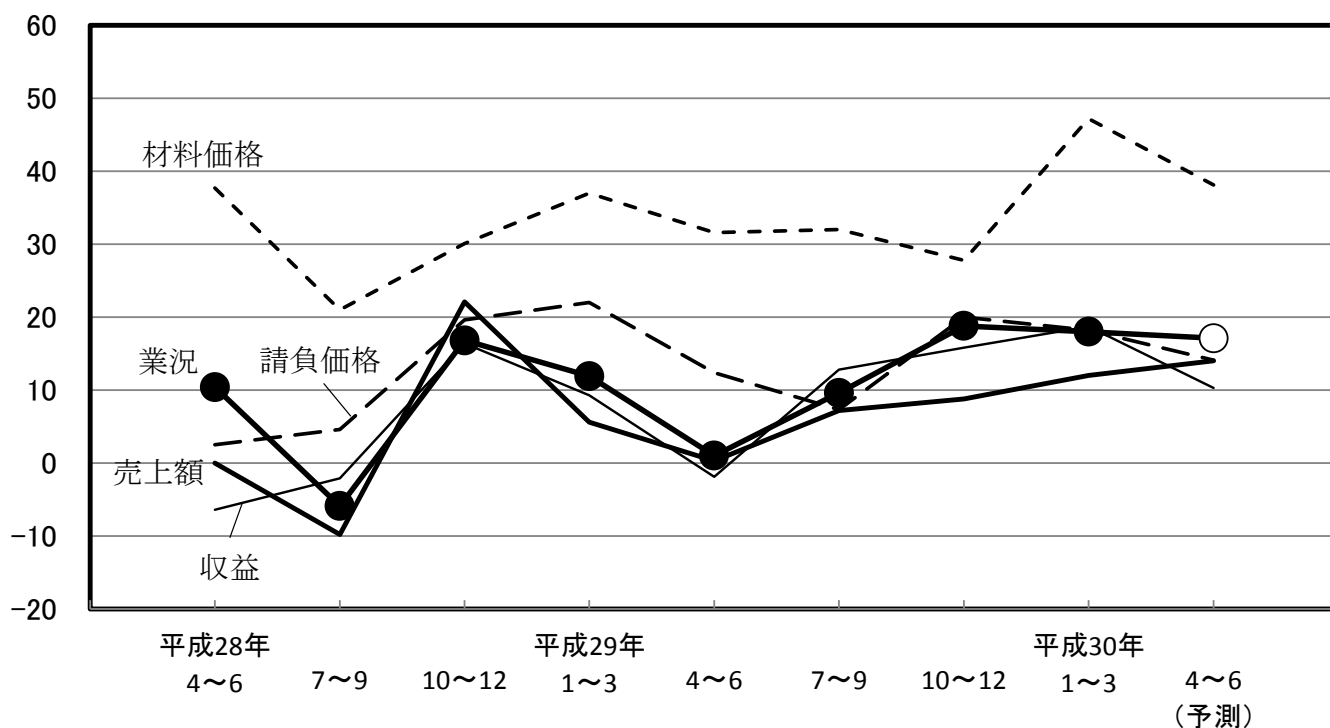
資金繰りは 5.2 で 0.4 ポイント減と前期同様の容易さが続き、借入難易度は $\Delta 6.0$ で 6.0 ポイント減と大きく厳しさが強まった。借入をした企業は 14.7% と 11.0 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 5.9% と 8.4 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは容易さがやや縮小する見込み。借入をする企業はやや減少し、設備投資を実施する企業は大きく増加する見通し。

経営上の問題点・重点経営施策

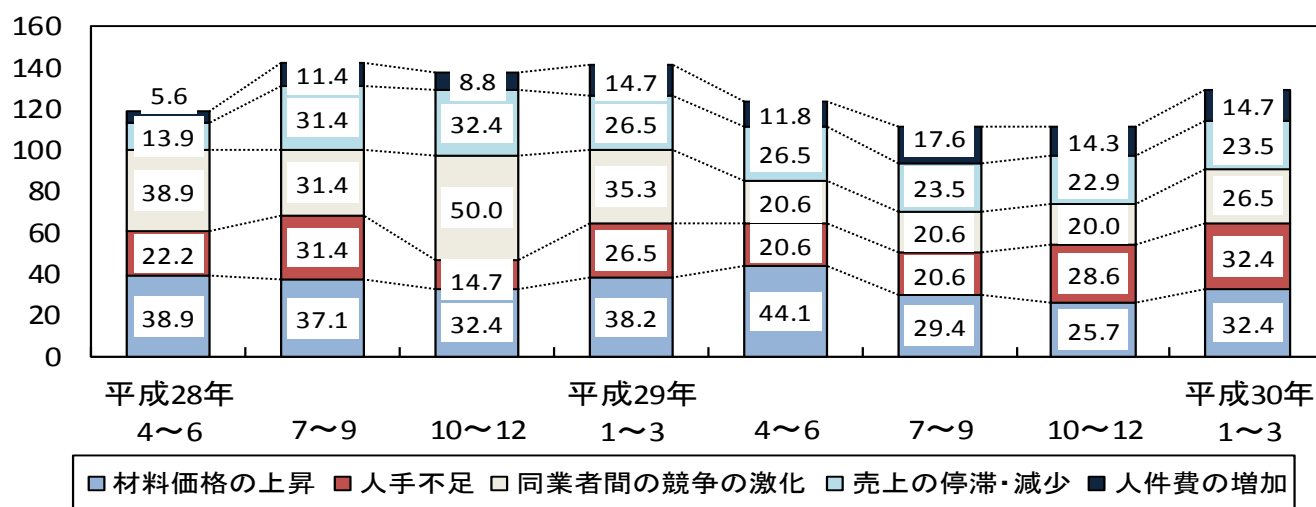
経営上の問題点は、1 位は「材料価格の上昇」「人手不足」がともに同率の 32.4% となった。次いで 2 位は「同業者間の競争の激化」で 26.5%、3 位は「売上の停滞・減少」で 23.5% となった。以下、4 位は「人件費の増加」で 14.7%、5 位は「利幅の縮小」「下請の確保難」がともに同率の 11.8% と続いた。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」で 38.2% となった。次いで 2 位は「経費を節減する」で 32.4%、3 位は「人材を確保する」で 29.4% となった。以下、4 位は「技術力を高める」で 26.5%、5 位は「情報力を強化する」で 23.5% であった。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

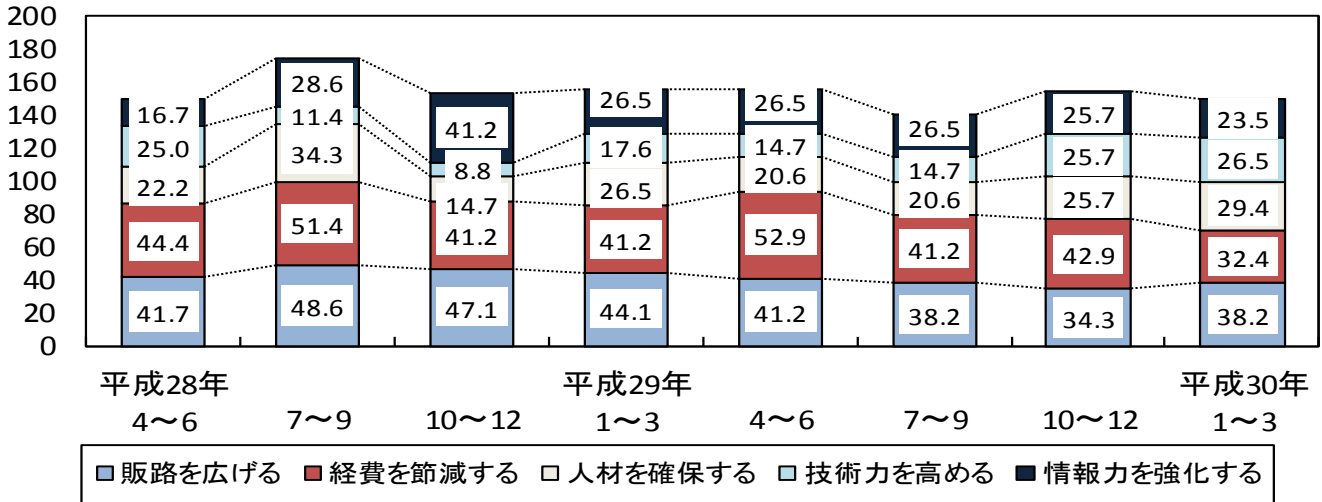


建設業 経営上の問題点（％）



	29年4~6月期	29年7~9月期	29年10~12月期	30年1~3月期
第1位	材料価格の上昇 44.1 %	材料価格の上昇 29.4 %	人手不足 28.6 %	材料価格の上昇 32.4 % 人手不足 32.4 %
第2位	売上の停滞・減少 26.5 %	利幅の縮小 23.5 % 売上の停滞・減少 23.5 %	材料価格の上昇 25.7 %	同業者間の競争の激化 26.5 %
第3位	利幅の縮小 23.5 %	同業者間の競争の激化 20.6 % 人手不足 20.6 %	売上の停滞・減少 22.9 %	売上の停滞・減少 23.5 %
第4位	同業者間の競争の激化 20.6 % 人手不足 20.6 %	人件費の増加 17.6 %	天候の不順 20.0 % 同業者間の競争の激化 20.0 %	人件費の増加 14.7 %
第5位	人件費の増加 11.8 %	天候の不順 11.8 %	利幅の縮小 17.1 %	利幅の縮小 11.8 % 下請の確保難 11.8 %

建設業 重点経営施策（％）



	29年4～6月期		29年7～9月期		29年10～12月期		30年1～3月期	
第1位	経費を節減する	52.9 %	経費を節減する	41.2 %	経費を節減する	42.9 %	販路を広げる	38.2 %
第2位	販路を広げる	41.2 %	販路を広げる	38.2 %	販路を広げる	34.3 %	経費を節減する	32.4 %
第3位	情報力を強化する	26.5 %	情報力を強化する	26.5 %	人材を確保する	25.7 %	人材を確保する	29.4 %
					技術力を高める	25.7 %		
					情報力を強化する	25.7 %		
第4位	人材を確保する	20.6 %	人材を確保する	20.6 %	新しい工法を導入する	2.9 %	技術力を高める	26.5 %
					新しい事業を始める	2.9 %		
					労働条件を改善する	2.9 %		
第5位	技術力を高める	14.7 %	技術力を高める	14.7 %			情報力を強化する	23.5 %